

概要版

第三次守谷市総合計画

第2期守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和4年度～13年度

水と緑のパワースポット もりや
～持続・創造・進化するまち～



守谷市

はじめに

守谷市はこれまで、「第二次守谷市総合計画」に基づき、もりやを「終(ついで)のすみか」と望み、誰もが幸せに暮らし続けることができるまちを目指して歩みを進めてきました。その間、全国的には人口減少社会へ突入し、地域間競争は激しさを増し、一方で新たなテクノロジーは我々の想像を超える速度で進展してきました。そして守谷市は、令和3年度に、新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の状況のもと、人々の生活様式や価値観が大きな変化を遂げつつある中で市制施行20周年を迎えました。



この度、市が今後進むべき方向性を示す新たな守谷市総合計画を策定するにあたり、これまでの概念にとらわれることなく、市民の皆様が力強い「市民力・地域力」とともに切り拓いていく守谷市の将来像を掲げました。それは、子どもたちが明るく健やかに成長できるまちであるように、将来に向けて創造と進化を続ける持続可能なまち、「水と緑のパワースポットもりや」です。この守谷市が目指す方向性は、2015年9月に国連サミットで採択された「SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)」の「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けた理念や目標と深く関連しています。市の様々な施策を効果的に組み合わせることで相乗効果を生むよう、新たな計画では分野横断的な取組を推進し、SDGsの目標達成につなげてまいります。

結びに、本計画の実現に当たりまして、守谷市総合計画審議会及び守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の委員の皆様をはじめ多くの市民の皆様から貴重なご意見をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。

令和4年3月

守谷市長

松丸 修久

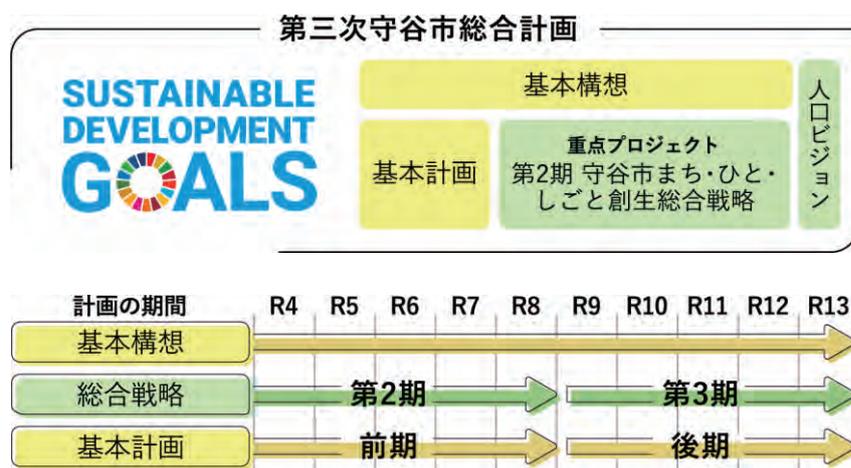
計画の趣旨

守谷市は、平成24年3月に第二次守谷市総合計画を策定し、「緑きらめき 人が輝く 絆つなぐまちもりや」の実現を目指し、様々な施策に取り組んできました。第二次計画策定以降の社会情勢の変化等へ対応し私たちが取り組んできたまちづくりを振り返り、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現を目指すSDGsの達成を見据えつつ、市民と行政が守谷市の未来の姿を共有して新しい時代をともにつくっていくための指針として、ここに第2期総合戦略を包含した第三次守谷市総合計画（以下「総合計画」という。）を策定しました。

計画の構成と期間

総合計画は、基本構想、基本計画で構成されているほか、今回は、重点プロジェクトとして総合戦略及びその前段となる人口ビジョンを盛り込んでいます。

計画期間は、令和4年度を初年度とし、基本構想は令和13年度を目標年次とする10年間、基本計画・第2期総合戦略は令和8年度を目標年次とする5年間とします。



守谷市が目指す将来像

これまで取り組んできたまちづくりの成果を引き継ぎ、更なる発展と安定に向け、守谷市の将来像を次のとおり定めます。

守谷市が目指す将来のすがた

- 変化をおそれず進化を続け新しい価値を創造するまち
- 個性ある魅力を発信し住まう場として選択されるまち
- 自然・人・街にエネルギーが満ち溢れ循環し持続するまち
- 豊かな自然環境と都心近接の優位性を最大限に活用し発展するまち

将来像

水と緑のパワースポット もりや ～ 持続・創造・進化するまち～

わたしは子どもたちの未来に約束します

恵みをもたらす水と美しいみどりを残します

快適で心豊かに暮らす自慢の街をつなぎます

地域で協力し合い活力ある未来に向けて挑戦します

守谷市の将来像を実現するための3つの柱と基本方針

柱

ひと

地域自治

くらしの基盤

基本方針

全てのひとが心身ともに健康で、生きがいや働きがいを実感できる暮らしを実現します

一人ひとりの個性や経験を生かして支え合い、身近な問題を解決して住みよいまちにします

恵み豊かな自然と調和する、便利で暮らしやすい街を創ります

SDGsの推進

[第2期守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略]の推進

施策の体系

将来像

柱

施策・あるべき未来の姿

総合戦略

水と緑の
パワースポット
もりや

持続・創造・進化するまち

ひと

地域自治

くらしの基盤

1. 子育て支援の充実

安心して子育てができるまちを実現

2. 教育改革の推進

教育改革による充実した学校教育の実現

3. 生涯学習の推進

こどもからおとなまで元気に学び活躍できるまちを実現

4. 人権の尊重と多文化共生社会の実現

一人ひとりの人権が守られ多様な文化が共生する社会を実現

5. 高齢者福祉の充実

高齢者が安心して暮らし社会参加や支え合い活動が活発になる

6. 地域福祉の推進

誰もが身近な地域で助け合いながら安心して暮らせる

7. 健康づくりの推進

みんなが健やかにいきいきと暮らせるまちの実現

8. 活気ある地域活動の推進

思いやりを持って知恵を出しあい身近な課題を解決していく

9. 信頼できる行政運営の推進

市民のニーズに寄り添い信頼できる行政運営

10. 環境にやさしい生活の創出

安定した基盤のもとに脱炭素社会を実現

11. 防災・減災対策の充実

危機に対し強さとしなやかさでリスクを回避・低減する

12. 市民生活の安全・安心の確保

市民生活の安全・安心が確保される

13. 利便性の高い都市基盤の整備

身近な自然を保全・活用した快適で持続可能なまちを実現する

14. 地場産業の活性化

特色ある地場産業が活気づくとともに地域資源の魅力を展開する

戦略分野

展開施策

人口ビジョン

出産・子育ての
希望をかなえる

子育て基盤の整備

子育てと仕事の両立
ができる環境づくり

出産・子育てへの
経済的支援

自然の中で活
力にあふれ、
愛着や誇りが
持てるまちを
つくる

質の高い教育環境
づくり

人的資源、地域資源、
自然環境の活用

新しいひとの
流れをつくる

テレワークを
生かした都心からの
呼び込み

関係人口創出と
市内外へ向けた
プロモーション

誰もが安心して
働ける環境
をつくる

守谷らしい産業の
創出・育成

就労環境の整備

令和42年に
6万5千人程度の人口を維持する

ひと

全てのひとが心身ともに健康で
生きがいや働きがいを実感できる暮らしを実現します

1 子育て支援の充実

安心して子育てができるまちを実現

取組	●多様な保育サービスの提供
	●子育ての経済的負担の軽減
	●母子保健の充実
	●安心して遊べる場の提供
	●子育て不安の解消と交流の場の提供

成果指標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
安心して子育てができるまちだと思 う子育て世帯の割合	88.6%	90%
希望する保育所に入れなかった児童数 (認証保育サービス利用者を除く)	132人	0人

2 教育改革の推進

教育改革による充実した学校教育の実現

取組	●確かな学力の育成
	●豊かな心を育む教育の推進
	●健康と体力を育む教育の推進
	●グローバル社会で活躍できる人材を育成する ための教育の推進
	●地域とともにある学校づくり
	●学びを支える環境づくり

成果指標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
将来の夢や目標をもっている児 童生徒の割合	80%	90%
学校が楽しいと思う児童生徒の割合	83.8%	90.0%

3 生涯学習の推進

こどもからおとなまで元気に学び
活躍できるまちを実現

取組	●自主的な学習活動の支援と機会・場の提供
	●スポーツを楽しむ環境づくり
	●心の豊かさを育む芸術・文化の振興
	●歴史・文化資産の継承

成果指標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
直近1年間で生涯学習に取り組ん だ市民の割合(※1)	37.4%	45%
成人の週1回以上のスポーツ実施率(※2)	31.3%	50%

※1 令和2年度までは「日ごろから生涯学習に取り組む市民の割合」
※2 令和2年度までは「日ごろからスポーツを行っている市民の割合」

4 人権の尊重と多文化共生社会の実現

一人ひとりの人権が守られ
多様な文化が共生する社会を実現

取組	●人権尊重意識の向上
	●男女共同参画意識の向上
	●虐待などの人権問題の解消
	●国際交流の推進

成果指標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
人権が尊重されているまちだと思 う市民の割合	72.2%	75%

5 高齢者福祉の充実

高齢者が安心して暮らし
社会参加や支え合い活動が活発になる

取組	●生きがいづくりの機会と社会参加の促進
	●高齢者の介護予防の推進
	●高齢者福祉サービスによる支援
	●介護保険制度の健全な運営
	●後期高齢者医療制度の健全な運営

成果指標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
自立高齢者の割合	87.6%	88%
ボランティアや自治会等の地域活 動に参加している高齢者の割合	40.6%	45%

6 地域福祉の推進

誰もが身近な地域で
助け合いながら安心して暮らせる

取組	●地域福祉活動の活性化
	●地域福祉活動の担い手育成と活動への支援
	●セーフティネットによる自立支援
	●在宅生活への支援の充実
	●障がい児者の生活の場の確保
	●療育・相談の充実
	●医療費の経済的負担軽減
	●国民健康保険制度の安定運営

成果指標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
地域福祉活動でお互いに支え合うこ とができていると思う市民の割合	52.0%	60%
安心して生活ができると感じて いる障がい者(保護者)の割合	70.0%	72%

基本計画（施策と取組内容）

7 健康づくりの推進

みんなが健やかに
いきいきと暮らせるまちの実現

取組	● 健康的な生活習慣の推進
	● 食育の推進
	● 感染症の予防・拡大防止
	● 地域医療体制の確保

成果指標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
健康寿命	男性 81.0 歳 女性 85.3 歳	男性 81.2 歳 女性 86.3 歳
心身ともに健康だと感じている 市民の割合	75.2%	80%

地域自治

一人ひとりの個性や経験を生かして支え合い
身近な問題を解決して住みよいまちにします

8 活気ある地域活動の推進

思いやりを持って知恵を出しあい
身近な課題を解決していく

取組	● 地域コミュニティの充実
	● 公益活動の促進
	● 協働のまちづくりの推進
	● シティプロモーションの推進
	● 広聴・情報公開の充実

成果指標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
市民や市民活動団体等が、地域の活性化や課題解決に取り組んでいると思う 市民の割合	47.4%	60%

9 信頼できる行政運営の推進

市民のニーズに寄り添い
信頼できる行財政運営

取組	● 計画行政の推進
	● 健全な財政運営の推進
	● 収納率の向上
	● 公有財産の有効活用と適切な管理
	● 柔軟で効率的な組織運営
	● 適正な人事管理と人材育成
	● ICT（情報技術）の活用
	● 市民の利便性向上

成果指標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
総合計画に掲げた成果指標の目標 値を達成できた施策の割合	39.02%	100%
電子申請の年間利用件数	18,284 件	40,000 件

くらしの基盤

恵み豊かな自然と調和する
便利で暮らしやすい街を創ります

10 活気ある地域活動の推進

安定した基盤のもとに
脱炭素社会を実現

取組	●生活公害・産業公害の防止
	●ゼロカーボンシティの推進
	●環境保全活動の推進
	●ごみの減量化
	●再資源化への取組
	●廃棄物の適正処理

成果指標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
良好な生活環境が保たれていると 思う市民の割合	83.3%	84%
常総環境センターへのごみ搬入量 (1人1日当たり換算)	672g/人・日	663g/人・日

11 防災・減災対策の充実

危機に対し強さとしなやかさで
リスクを回避・低減する

取組	●市民の防災意識の向上
	●災害時における行政による支援体制の強化
	●避難行動要支援者の避難支援

成果指標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
自主防災組織の活動カバー率	75.7%	83%
防災訓練の参加率	3.1%	15%

12 市民生活の安全・安心の確保

市民生活の安全・安心が確保される

取組	●消防体制の強化
	●救命・救急体制の充実
	●市民による防火対策の充実
	●交通安全施設等の整備
	●交通安全意識の向上
	●防犯意識の向上
	●地域で行う防犯活動の推進
	●まちな防犯機能の充実
	●消費者の安全・安心の確保

成果指標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
火災発生件数	23件	19件
人口千人当たりの交通事故発生件数(年間)	1.5件	1.5件
人口千人当たりの刑法犯認知件数(年間)	5.9件	5.1件

13 利便性の高い都市基盤の整備

危機に対し強さとしなやかさで
リスクを回避・低減する

取組	●コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり
	●土地の適切な規制と誘導
	●空き家対策の推進
	●美しい都市景観の形成
	●緑地の保全・活用
	●公園・街路樹等の適正な維持管理
	●水道水の安定供給
	●汚水の安定処理
	●雨水の適正排水
	●健全な上下水道事業の経営
	●道路の適切な維持管理
	●未改良道路の整備
	●都市計画道路の整備

成果指標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
市街化区域面積	985ha	1,060ha
緑地率	47.41%	46%
インフラ(道路舗装・上下水道管 路)の年間改善率	0.42%	0.35%

14 地場産業の活性化

特色ある地場産業が活気づくとともに
地域資源の魅力を展開する

取組	●農業の支援
	●商工業の発展
	●地域資源の有効的な活用

成果指標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
市内総生産額の増加 (現状値 300,165 百万円を 100)	100	110 (10%増)
地域資源(守谷野鳥のみち、守 谷駅前イベント等)の入込客数	225,173人 (令和元年度)	247,690人

守谷市人口ビジョン

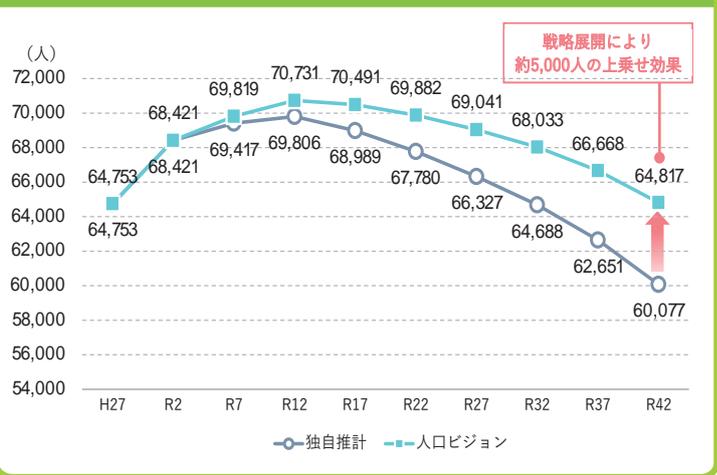
令和42年に 65,000人程度の人口を維持する

人口ビジョンの実現に向けた考え方

以下の4つの視点に基づく様々な戦略の展開により、約5,000人の上乗せ効果を目指し、人口ビジョンの実現に取り組みます。

- 子どもを生み育てやすい環境の創出
- 先進的で質の高い教育環境の整備
- 多様な働き方が実現できるまちの整備
- 安心して暮らすことができる地域の形成

人口ビジョン(総人口)の推移



第2期総合戦略(戦略分野・展開施策)

戦略分野① 出産・子育ての希望をかなえる

出産や子育てに関する希望をかなえられるよう、切れ目のない支援の更なる充実を図り、子どもを生み育てる世代の暮らしの場として選ばれるまちにします。

展開施策-1 子育て基盤の整備

- 子育てに不安を抱える母子や家庭に寄り添い支援できる、切れ目のない包括的体制の強化
- イベント等での世代間交流や子育てナビ等による子育てに関する情報発信の充実

展開施策-2 子育てと仕事の両立ができる環境づくり

- 安心できる子供の居場所の整備
- 多様な保育ニーズへの対応と保育従事者の労働環境改善

展開施策-3 出産・子育てへの経済的支援

- 新たな経済的負担軽減策の推進
- ひとり親家庭に対する生活支援や自立の促進

戦略分野③ 新しいひとの流れをつくる

関係人口の拡大を図り、二地域居住や移住・定住をはじめ外国人材と多様なつながりを持つまちを目指します。

展開施策-1 テレワークを生かした都心からの呼び込み

- コワーキングスペースをきっかけとした移住候補者への働きかけ
- 移住やビジネス拠点の受け皿としての空家バンクの活用促進

展開施策-2 関係人口創出と市内外へ向けたプロモーション

- 自治会やまちづくり協議会など、市域住民同士が情報交換・連携できる場・仕組の創出
- 地域住民が活発的に活動できる支援の充実
- シティプロモーションの推進

戦略分野② 自然の中で活力にあふれ、愛着や誇りが持てるまちをつくる

都心近接でありながら自然豊かな環境の中で質の高い教育を受けることができる守谷市に住むことに魅力を感じ、愛着や誇りが持てる活力にあふれたまちを目指します。

展開施策-1 質の高い教育環境づくり

- ICTを活用した多様な教育システムの推進
- ALTの配置やオンライン英会話の導入、検定試験料補助などの外国語教育の推進

展開施策-2 人的資源、地域資源、自然環境の活用

- もりやコミュニティ・スクールボランティアバンクの運用による豊富な地域人材の活用
- 自然や歴史的資源等の地域資源を活用したまちづくりの推進
- 市民との協働による身近な緑の保全・充実と活用促進

戦略分野④ 誰もが安心して働ける環境をつくる

地域資源・産業を生かした稼ぐ地域をつくり、働くことに誇りと幸せを感じることでできる仕事と雇用機会を創出し、誰もが安心して働くことができるまちを目指します。

展開施策-1 守谷らしい産業の創出・育成

- ドローン等を活用したスマート農業や6次産業化等による持続可能な都市型農業の推進
- 新守谷駅周辺地区の副次拠点整備などの新たな産業拠点の創出と企業の誘導

展開施策-2 就労環境の整備

- ICT活用によるワーク・ライフ・バランスの推進
- 新守谷駅周辺地区の副次拠点整備などの新たな産業拠点の創出と企業の誘導(再掲)

第三次守谷市総合計画 概要版

発行年月 令和4年3月
発行者 茨城県 守谷市
〒302-0198 茨城県守谷市大柏950番地の1
TEL : 0297-45-1111(代表)
<https://www.city.moriya.ibaraki.jp/>
編集 市長公室 企画課